



区間賞 (敬称略・氏名・校区)

第1区=園田さくら(紙屋校区) 第2区=松田佳樹(小林校区A) 第3区=大川内理恋(小林校区A)、永田ひなの(紙屋校区) 第4区=齊藤貴憲(小林校区A) 第5区=小原碧斗(小林校区A) 第6区=園田亮介(細野校区) 第7区=松山幸聖(三松校区B) 第8区=坂上雄大(紙屋校区) 第9区=大牟田海斗(西小林・幸ヶ丘校区) 第10区=藤田博久(三松校区A) 第11区=小堀早也佳(南校区) 第12区=齊藤康志(小林校区A) 第13区=黒木梨乃(野尻校区) 第14区=北原悠徳(三松校区)

た。監督の小川泉さんは「優勝はうれしい。選手が頑張ってくれたおかげです」と話していました。躍進賞は、昨年10位から5位へと5つ順位を上げた細野校区に贈られました。

また、今年は、各中継所と陸上競技場をインターネットでつなぎ、ライブ中継を初めて実施。レース終了後には、宮崎牛汁うどんのふるまいなどが行われ、選手、スタッフや声援を送った方々が、交流を深めていました。

1月28日、第67回こばやし駅伝競走大会が総合運動公園市営陸上競技場を発着とする25・6キロ、14区間で開催され、各校区代表の選手らが健脚を競いました。

レースは、1区で紙屋校区が先頭でタスキリレー。2区から7区は小林校区がトップに。8区で西小林・幸ヶ丘校区が逆転し13区までトップを維持しましたが、最終区で三松校区がかわし、三松校区が30年ぶりの優勝を果たしました。

2018.1.28 Photo Report 第67回こばやし駅伝競走大会

三松校区が30年ぶりの優勝。

【以下、結果】1位=三松校区A、2位=西小林・幸ヶ丘校区、3位=南校区、4位=小林校区A、5位=細野校区、6位=東方校区、7位=紙屋校区、8位=永久津校区、9位=栗須校区、10位=野尻校区、11位=須木校区

